

はやぶさ 第102号 2014年10月10日(金)

=====

発行責任者： 一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

理事長 平本 靖夫

（Captain 平本：（株）I&C・HosBiz センター）

編集責任者： 理事 石川 昌平

はやぶさのバックナンバーURL：<http://keiei-tokkunshi.jp/maga.php>

一般社団法人 経営特訓士協会

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：[happy@keiei-tokkunshi.jp](mailto:happy@keiei-tokkunshi.jp)

=====

**メルマガ「はやぶさ」 第102回目の発信です、7回シリーズの第2回です。**

著者：（株）感動経営義塾  
代表取締役社長 阪本 裕介

URL <http://kandoujyuku.com/>

---

**タイトル：家族からも応援される会社作りの秘訣**

**\*\*\*\*\* 本題 \*\*\*\*\***

第2回：家族をマネジメントすることで、生産性が上がる事例

今回は、家族と経営の生産性がどのように密接に関連しているかについて事例も踏まえ、お伝えしていこうと思います。

感情的に怒る経営者や部長、無反応・注意散漫な部下、新入社員・・・。

皆様の回りにこんな方は見かけませんか？ 企業規模問わず、日常的に見かける光景かと思います。多くの人は家庭（過去の経験含む）で多くのトラブル（本人は気づいていない）を抱えています。

例えば、私の知人のTさんは仕事でのミスを繰り返し、注意散漫になると大きなトラブルを引き起こしていました。Tさんの相談を受けていると、その原因は母親との関係であることがわかりました。

母親は厳しい方でしたが、Tさんのことを昔から認めず、Tさんは母親がいるだけで、（あるいは近づくだけで）Tさんが委縮してしまい、気になってしまう存在でした。

そのため、仕事においても、どこか母親のことが気になり、集中できていない状態が続いていたのです（：気持ちは過去にあり、現在から未来を考えて、生きられない状態）。

私とTさんは母親への向き合い方を一緒に検討し、ある手紙を書くことにしました。

その内容は、自分はおかげ様で無事に楽しく生きているといった内容だったのですが、何回か手紙を繰り返していくことで（詳細の内容は守秘義務あるので、割愛）、結果、Tさんと母親との関係は回復し、仕事でも生産性を回復することができました。

この事例から何が大切か皆様はどのように感じられたでしょうか？

### ー家庭のマネジメントは仕事のマネジメントより難しいー

私は、多くの経営者のビジネス、家庭の問題解決を観察した結果、経営者様自身も仕事以上に、家庭での問題解決やマネジメントについて、難しさを感じていることに気づきました。

その理由は家庭でのそれぞれのポジションにおけるミッションや役割は不明確で何を基準にマネジメントをすればいいか体系化されていないということです。

仕事の多くは仕事の意味や目的、役割が明確であるのに、家庭では何を基軸にすればいいのか・・・。

先の事例でも問題解決の糸口は仕事ではありません。どんなにTさんに仕事の問題解決スキルやマネジメントの手法を伝えても解決しないのです。

私は仕事の生産性を上げるために、母親に向き合うようアドバイスしましたが、

私自身も、身内だからこそ、問題解決していく難しさを感じています。

身内の場合、ビジネスのように、集団議論で問題解決する方法は取りにくいですし（人によっては、問題を公開するのを“恥”と捉える方もいるでしょう）、身内の場合、何十年前にも問題解決の本質が隠れている場合もあるからです。

よって、私としては、トラブルになる前に、気づきにくい問題に気づき、これから申し上げる基準に基づき、早めに手を打つことが大切だと考えています（私自身も3人の子どもと妻とどのように向き合うか常に問題解決に向けた取組をする毎日です）

それでは、ビジネスにおける目標管理制度上の重要業績評価指標であるKPI（Key Performance Indicators）のように、家庭で生産性を上げるための基準をご案内させていただきます。

－鍵は“良いPRの数”－

【家庭での価値ある最終生産物（value Final Product）＝“良いPRの数”】

良いPRとは

子どもの教育（家訓）について話し合う、親の介護について話し合う、  
毎日そうじをする、息子の宿題を見てあげる、仕事で良かった話をする  
毎日感謝する（先祖、食事等々含む） 等々  
が代表的です。大切なのは時間ではなく、**数だ**ということです。

先のTさんの問題解決事例でも、最初の手紙では解決しないことは分かっていましたが、何回も出すことで問題解決の方向に向かっていきました。実は手紙が問題解決の視点ではなく（もちろん手紙の内容にもスキルは入っていますが）、**“数”**が論点だったのです。

特に、企業経営において、経営者は会社でのPRは十分ですが、家庭でのPRの数を見落として、結果的に「仕事は充実しているが、家庭は充実していないので、幸せではない」といった経営者様が多いため、注意したい所です。

数を増やす・・・少しまだ説明が必要かもしれませんね。次回は、数を増やすという論点を考察する上で、重要な観点であるダイナミックスについて、ご案内させて頂こうと思います。

◆DVD「経営特くんゲームのすすめ方」と小冊子「経営のゴールド免許の取り方」を  
プレゼントします。下記よりお申し込みください。

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

\*\*\*\*\*      お知らせ      \*\*\*\*\*

◆「トライアルゲーム」・「マスター20」（5時間コース）◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■「トライアルゲーム」（初回体験受講）の場合はテキスト代 1,000円  
特典として（1）小冊子「経営のゴールド免許の取り方」を差し上げます。

■「マスター20」は、テキスト代込み 2,500円  
2回目以降の受講希望者が対象です。5時間で2ゲームを体験します。  
このコースを20回受講すれば「認定経営特訓士」として登録いたします。  
・またキットBOXの領布も受け付けています（有料）、  
・次の「マスター20」コースを受講して「認定経営特訓士」に申請できます。

・両コースとも、同日開催いたします。  
HPをご高覧いただき、「トライアルゲーム」「マスター20」のうち、  
どちらを受講希望するかを申し込みください。

★ 毎回、熱心な皆さんが参加されています。繰り返し参加されることによって、  
「経営力」がパワーアップされますとともに、「コミュニケーション力」も  
体得できます。

・トライアルゲームを一度経験された方は、「認定経営特訓士」へのステップアップ  
コース「マスター20」コースの受講をお勧めします。  
受講料は2回目から、資料代込み 2,500円（税込）、20回受講で「認定経営  
特訓士」として登録されます。

1) 10月18日（土） 13：30～18：30 「経営特訓道場」JR 駒込駅南口 徒歩6分  
東京メトロ南北線駒込駅 1番出口 徒歩5分  
ご案内は以下に掲載しています。





happy@keiei-tokkunshi.jp

でお申込みください。  
折り返し、メールにて送付させていただきます。

=====

◆編集後記

はやぶさのバックナンバーURL：<http://keiei-tokkunshi.jp/maga.php>

「はやぶさ」の第102号を発行しました。  
本号の編集後記は、編集責任者の石川が執筆しました。

=====

- 今週もまだ、木曾の御嶽山噴火での災害活動が続いています、8日現在の報道では死亡者の数が47名から55名に増えて、消息不明の方は9名になっているとのことです。  
本当に大変な災害でした。
- 久しぶりに朗報がもたらされました。3名の日本人の方がLED研究の功績でノーベル物理学賞に輝きました。その一人が訴訟問題でマスコミを騒がした中村修二さんです。これでまた中村節がマスコミに登場するかもしれません。  
基礎研究、応用研究、実用化がセットになっての受賞は、初めてではないでしょうか？  
ノーベル賞自体のあり方に疑問をもたれる人もいらっしゃるかもしれませんが、ここは素直に喜び、お祝いを申しあげたいと思います。おめでとうございます！！

-----

読者の皆様から、ご要望や率直なご意見をいただきますと、発信する勇気と力が湧いてきますので、皆様からのメールを心待ちしております。よろしくお願ひします。

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：[happy@keiei-tokkunshi.jp](mailto:happy@keiei-tokkunshi.jp)

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

[http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone\\_river@hosbiz.net](http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone_river@hosbiz.net)

=====